

九州・熊本大地震
支援の輪を広げよう

農協労働者

北海道単位農業協同組合・農業共済組合
労働組合連合会（道農協労連）機関紙
毎月1日発行 1部30円
札幌市中央区北4条西1丁目 共済ビル4階
Tel. 011 (232) 0676
Fax. 011 (232) 2355
URL: http://donokyororen.jp
E-mail: mail@donokyororen.jp
発行責任者 九村 信吾

第2回全道女性のつどい

女性の視点で考える『職場の現状と課題』

全農協労連
メーデースローガン

働くものの団結で生活と権利を守り 平和と民主主義、中立の日本をめざそう



第2回 全道女性のつどい

道農協労連は、4月23日に札幌市内で『第2回全道女性のつどい』を開催し、9単組26名が参加。講演と分散会を行いました。

自分たちの労働
時間に関心を

「ワーク・ライフ・バランス」をテーマとした講演では、講師の宮崎陽子さん（全農協労連女性部事務局長）が「労働時間の管理なしにワーク・ライフ・バランスの実現はありえない」と強調。「たとえ短時間であっても、積み重ねると膨大な時間となる。労働時間にはこだわって欲しい」と述べました。また、政府が提案している残業代ゼロ制度について触れ、ワーク・ライフ・バランスに相反していると指摘。「職場のことでだけではなく、自分たちの生活に関係する社会問題にも目を向けて欲しい」と訴えました。

「他の職場の話
聞いて良かった」

分散会では、職場の実態・課題などを交流。参加者は、「男性と違い、女性職員は他の職場との交流機会が少ない（参加者談）」ため、真剣に耳を傾けていました。分散会報告では職場の現状や課題などが



笑顔で職場の実態を交流

が出され、多くの共感の声があげられました。また、参加者アンケート

今金 住宅手当、家族手当引き上げ ようてい 2年連続のベースアップを実施

今金 7年連続（計5000円）住宅手当引き上げ
今金町農協従組（水本和芳委員長）は、今春闘で住宅手当と家族手当の増額を要求。交渉の末、要求額には届かなかったものの、住宅手当一律1000円増、家族手当（18歳未満の子及び23才以下の就学中の子）500円増を勝ち取りました。住宅手当改善は2010年から7年連続の実施となり、計5500円の引き上げとなっています。

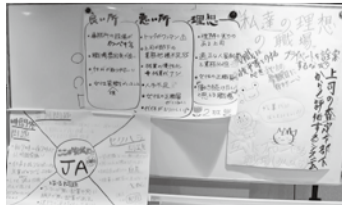
ようてい ベア2000円。初の職員説明会も
ようてい農協労組（浅野孝一委員長）は、昨年に引き続き、人材確保を理由に、初任給の引き上げ（大員組合の一貫した要求卒17万2200円を17万4200円）を実施。これに伴い、在籍職員給与も2000円引き上げることとなりました。また、これまで労働条件変更の際、職員対象の説明会は行われていざせんでしたが、今回初めて職員説明会が実施され、変更理由や内容など詳細が報告されました。

湧別 準職員6名を正職員登用。要求実現
湧別町農協職組（平田弥委員長）は、6名の女性準職員全員を正職員登用することを決定しました。職員組合は、14年年末要求から女性準職員の正職員化を要求し続けており、今回の決定は、職

トでは、「また参加したい」「普段話しづらいことも女性同士で話し合えて楽しかった」という声が多数寄せられました。

- 分散会で出された声**
- 「職場の現状と課題」
 - 日常的なセクハラ
 - 恒常化するサービス残業
 - 女性正職員が少ない
 - トップがワンマン
 - プライベートに干渉
 - 子どもの行事に参加できない
 - 役職が男女不平等
 - 体型をいじられる
 - 人手不足
 - 休みが取れない
 - 施設の老朽化
 - 「理想の職場」
 - 互いにフォローできる職場環境
 - 上司の査定を部下が行うシステムの導入
 - 残業代の適正支給
 - 女性の正職員化

「働き続けたい」と思える職場
○ 理解と実力ある上司
○ 適正な人員配置と業務分担



想いの込められた意見